

# 中山間地域の農業再編と地域活性化のしくみ

## 1. 調査のねらい

条件不利地域にある中山間地域を活性化させるための活性化のしくみとこれからの方向について明かにする。

## 2. 調査の方法

地域活性化のため活動する、A：中野内生産組合（黒羽町）、B：西部営農集団（馬頭町）、C：仙波むらづくり推進委員会（葛生町）の3組織を対象に既存資料の整理・分析および聞き取りにより調査した。

## 3. 結果および考察

- (1) 活動過程は、①動機づけ、②意識と問題の整理、③条件の整備、④諸行動の推進、⑤信頼関係の増進の5つに分類され、これらを順におこなうことで活性化できる（表）。
- (2) 特に、活性化活動の端緒となる①の動機づけは、地域住民の意識を地域内に向けさせ、現実問題を意識・認識化していく、最も重要な過程である。意識を地域内に向けさせるためには、住民相互で話し合いのできる場（機会）をつくり、地域住民が主体となって活動する雰囲気づくりを行っていくことが大切である。
- (3) 地域住民が参画するのであるから、男性女性、多年齢階層にわたる彼等が、地域への問題や意識していることを出し合い、それを整理することが大切である。そうすることで、それぞれの意識にあった活動への参画がし易くなり、活動目的も明確となる。例えば、Aの農産物の直売、Cの農村レストランや各組織で行う農業体験による地域交流等である。
- (4) 活性化活動のための農産物生産・加工技術、組織運営上の規約や施設等の諸条件は、地域自らで行えるものは自ら整え、地域を核とした活動の諸条件を整備することが必要である。
- (5) 地域は、住民が地域内の資源を活用し、継続的な活動を地域内に起こすことで活性化できる。活動するにあたっては、参画者自身も楽しめることが大切であり、地域内の住民どうしを知るための旅行や親睦会活動等も重要となる。
- (6) 今後は、安定就労の場として就労条件、福利厚生や施設設備等の再整備を図るとともに、組織の法人化を考えていくことである。そのためにも、組織内に低年齢層加入者を定着させ、活動事業を強化または広げていく必要がある。
- (7) 関係機関の公的な支援では、地域内のみでは出来ない諸条件整備への助言や指導、PRの手助け等が最も有効なものと考えられる。小さな資本で始める農産物直売や農村レストランでは、口コミが宣伝のほとんどであるため、顧客は、広域的な確保が出来ていたとは言えなかった。活動が広く地域に知られ、広域的な顧客獲得のきっかけとなるのは、県や町の広報誌へのPR記事の掲載であり、活動への有効な支援手段のひとつと言える。

## 4. 成果の要約

条件不利地域である中山間地域を活性化させるしくみについて調査したところ、地域活性化活動

には5つの活動過程がある。それは、①動機づけ、②意識と問題の整理、③条件の整備、④諸行動の推進、⑤信頼関係の増進であり、これらを順におこなうことで活性化できる。また、これらは連鎖された活動で、地域住民による地域資源の有効活用を持続的に行うことが地域活性化であり、活動は活動参加者自身も楽しみをもてるものであることが最も重要である。また、関係機関の支援策としては、PRへの支援が最も有効である。

(担当者 企画経営部 石井康夫)

表 調査地域の地域活性化過程と活動内容

組織名		A：中野内 生産組合	B：西部 営農集団	C：仙波地区むら づくり推進委員会
1) 主な活動内容		・野菜直売所	・水稲共同育苗	・ソバ生産加工販売
2) 活動中心者		・女性、高齢者	・男性（経営主）	・女性、高齢者
3) 活動単位		・集落	・町内専業農家	・集落
4) 活動過程				
①動機づけ ↓	・外発的 ・内発的	・集落内会話の不足 ・機能維持の危機 ・活動の具体化	・集落内農業への危機 ・共通問題の表面化	・集落維持の危機 ・住民相互で問題の表面化を図る
②意識と問題の整理 ↓	・地域内住民の参加、参画 ・他を見る	・女性、高齢者の参加 ・直売所の視察	・先進地の視察	・女性、高齢者の参画 ・先進地の視察
③条件の整備 ↓	・施設整備 ・組織づくり ・規約づくり ・技能活用	・直売施設 ・生産組織 ・運営規約 ・野菜生産	・共同育苗施設 ・研究会の結成 ・運営、福利厚生 ・生産技術	・加工施設 ・目的別部会結成 ・運営、福利厚生 ・加工技術(カ)
④諸行動の推進 ↓	・意見交換の場づくり	・夫婦で総会出席 ・総会と研修を一緒	・総会への女性参加	・部会での意見交換
⑤信頼関係の増進	・親睦行事 ・イベント開催	・ボリカ大会 ・感謝祭	・親睦旅行 ・地域イベントの参画	・各部会親睦事業 ・新そば祭り
5) 地域資源				
①人材	・参加者	・女性、高齢者	・専業農家	・女性、高齢者
②土地資源	・農地	・地域内耕地	・地域内耕地	・地域内耕地
③技術	・能力	・生産技術	・生産技術	・生産、加工技術
④環境	・地域景観	・地域内景観	・地域内景観	・カ畑風景
6) 関係機関の支援策		・直売PR ・活動助言 ・技術講習会 ・視察研修	・イベント、活動PR ・活動助言 ・技術講習会 ・視察研修	・販売、イベントPR ・活動助言 ・技術講習会 ・視察研修

注) 4) 活動過程の分類は、「中山間地域の活性化向上の方策」(長谷山 平成8年)を参考。